

一般質問

市政全般について

質問した一般質問の中から、主な質問と答弁の要旨等を掲載しています。

みらい仙台

佐竹 久美子 議員

今後の市民向けIT講習の企画の内容は？

答 外出の機会が少ない女性を対象としたコースや親子会やグループ等を対象とした「出前講習」も企画している。

問 プラスチック製容器包装飛散防止用ネットの集積所への配布取付け相談の状況は？

答 ネットの配布率は約75%で、集積所の形態によって各環境事業所で設置・管理方法の相談を受けている。行政の説明責任としての広報と広報事業の両立

せんだい新・生活産業創出コンソーシアムの運営内容



使わないときはたんでおける(上写真)ごみ集積所

問 保険料のあり方も含めた次期介護保険事業計画策定の見直しについて伺う。

答 高齢化の進展により、給付費の上昇は避けられず、特に施設サービスの増加は将来の保険料に与える影響も大

きいと考えている。在宅と施設とのバランスのあり方などあらゆる角度から十分な議論を、市民の皆様と理解いただける計画となるよう努めている。

仙台市の危機管理体制 応急手当の普及啓発 雑居ビル火災対応について W林集団救急事故や火災等の災害に対する対策

民主フォーラム

日下 富士夫 議員

市三役車両を含む今年度の低公害車の導入予定は？

答 オムニバスタウン指定のメリットを生かした路線バス四台を含む天然ガス車二十台、ハイブリッド車一台の計二十七台を導入する。助役車一台の更新も含まれる。自転車等利用環境整備 放置自転車防止のための駐輪誘導啓発事業のあり方 鉄道事業者との連携による 鉄道駅周辺の駐輪場整備 自転車利用促進の新たな取組 泉サッカースタジアムの有効活用、ヘガルタの練習使用のPR 仙台スタジアム正面市道をベガルタロードに！



6月29日にオープンした泉サッカー場

問 在宅で介護をしている家族や介護者の急な都合に対応できる緊急時ショートステイ利用への対策を早急に！

答 ショートステイベッドは特養ホーム施設整備にあわ

せて確保してきた。今後は緊急用ベッドの確保も視野に入ながら整備していきたい。

介護保険(次期事業計画)と施設整備(特養ホーム)入所基準づくり、在宅サービス利用可能情報提供システム(ベガルタ仙台、グッズ販売・ホームタウン協議会)

W林は地球が揺れる一ヶ月イタリヤチームと仙台市民シティーチームの考え方

公明党

植田 耕資 議員

都市再生法の成立を機に、地下鉄東西線の実現に向けて、仙台市の都市再生のプランを急ぐべき。

答 駅を中心とした緑の大環状を形成し、中心市街地における緑の中で環境と市民が共生できる仙台らしい都市を形成していく。

問 地域型の施設を住民に使い易いものにするために、合案を推進すべき。また、民間施設との合案も考えるべき。

答 合案は住民のニーズに応える有効な手法の一つであり、今後、合案施設の検討に当

たつては、各局間で十分調整を図り努力していく。

山口 津世子 議員

二十一年世紀の全てを担う子供達に、本市の街の良い所や環境、学校生活、友達についてなど話してもらい子供達への関心を持ってもらいたい。

日本共産党

福島 一恵 議員

二〇一〇年には二〇〇〇戸の公営住宅が不足するのでは、市営住宅の新設をすべき。

答 老朽市営住宅の建替えと民間活力の導入などで対応していきたい。

問 借上り市営住宅や民間住宅への入居支援策はいつまでどれだけ整備するのか。

答 現時点では、整備に付いての最終的な数値目標を明示することはできない。

問 借上り市営住宅や民間住宅への入居支援策はいつまでどれだけ整備するのか。

答 現時点では、整備に付いての最終的な数値目標を明示することはできない。

問 借上り市営住宅や民間住宅への入居支援策はいつまでどれだけ整備するのか。

答 現時点では、整備に付いての最終的な数値目標を明示することはできない。

常任委員会 審議の概要

平成14年6月5日開催

総務財政委員会

総務局、企画局、財政局その他を所管

付託された議案番号 (第85号) 委員長 笠原 哲 副委員長 庄司 俊充

付託された議案番号

付託された二議案は、全会一致で可決すべきものと決した。企画局の報告への質問

問 二の実施について

答 出前コースが設定されているが、パソコンは受講者が準備するが、場所は受講者の自宅でもいいのか。

問 主催者側で教材等も用意するので、五人以上の方が集まれば、受講者の用意した場所で講習を行う。

問 去年の講習会の評価、実績を今回の講習にどう反映しているのか、また、講師はどのような人たちなのか。

付託された議案番号 (第89号) 委員長 柿沼 敏万 副委員長 岡本 章子

付託された八議案は、全会一致で可決すべきものと決した。教育局の報告への質問

問 旧石器発掘ねつ造問題への本市の対応について

答 本市独自に検証作業を開始しており、今後この作業を続けていきたい。



解体中の仙台北丸跡北面石垣全景

健康福祉委員会

健康福祉局、市立病院を所管

付託された議案番号 (第85号) 委員長 木村 勝好 副委員長 田村 稔

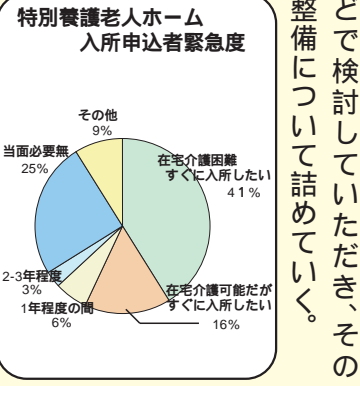
付託された二議案は、全会一致で可決すべきものと決した。付託請願審査

付託された第二号請願(食品安全新法)制定と新行政組織設置を求める意見書)を国に提出することを求める件を採択すべきものと決定し意見書を議長に提出した。

問 健康福祉局の報告への質問

問 特別養護老人ホーム入所申込者調査結果を受けて、施設整備が急がれるが、どのように対応していくのか。

答 入所希望者の増加を踏まえ、介護保険運営委員会な



市立病院の報告への質問

問 新生児聴覚検査の実施

答 環境局と十分協議し、取組について

問 環境局と十分協議し、取組について

答 環境局と十分協議し、取組について

問 環境局と十分協議し、取組について

答 環境局と十分協議し、取組について

市民党市議団

石川 建治 議員

二一ズに合わせた学校給食パンの安定供給の確立を、

問 きめ細かな対応が可能な供給体制の早期確立を、県学校給食会に要請していく。

答 学校給食に選択メニューを導入するよう検討を。

問 様々な課題、制約を解決しながら、食事環境を整備し充実を努めていく。

答 ふれあい食事サービス事業等への財政の拡充を。

問 小地域福祉ネットワークの充実のため補助金を廃止したのでご理解いただきたい。

答 青少年健全育成事業を支える財政支援の強化を。

問 東部地区治水対策の具

答 仙台東部地区治水対策検討会で、平成十五年度内の計画策定を目指し作業している。本市はこの計画を待ち、早期実現に向け努力していく。

問 水源保全条例の制定に取り組みを。

答 既存の法令・要綱等による指導強化を図る。

問 六郷・七郷堀の通年通水を四ツ谷用水の復活を



孤立した住民をボートで救出する消防隊員(S61.8.5)

グローバルネット仙台

加藤 栄一 議員

仙台圏の軌道系交通機関における仙台線の位置づけについて

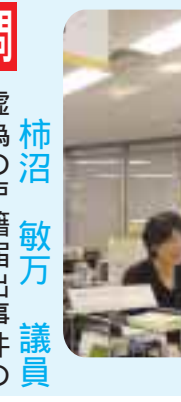
問 まちづくりにおけるJRとの協議について

答 JR陸前落合駅の整備の実現に向けて、どう取り組んでいるのか。

問 JRと協議をすすめる、市民の利便性やJRの乗客の安全性を重視した駅舎の橋上化など駅前広場の全体について

答 今後は早急に覚書を締結し、今年度は基本設計を行い、十五年度には工事着手、十六年度末に完成供用を目指し鋭意努力していく。

問 虚偽の戸籍届出事件の被害者の戸籍について、履歴



戸籍窓口

用語解説

本文中の青文字の用語解説です。

知的クラスター創成事業注1)

(二頁 みらい仙台)

文部科学省の事業。自治体を中心として知的創造の拠点である大学等を核とし、関連研究機関、研究開発企業等が集積する研究開発能力の拠点知的クラスター)の形成を目指す。事業実施地域は仙台地域を含めて全国で十二地域。

知的障害者自立体験ステイモデル事業注2)

(二頁 自由民主党)

在宅の知的障害者の自立生活の実現を支援するため、社会福祉法人が実施する、一定期間親元を離れた生活を施設で体験する自立体験事業に對して助成を行うもの。

動物介在活動(AAX)注3)

(三頁 グローバルネット仙台)

Animal Assisted Activityの略で人と動物の共生を活用し、相互に触れ合い、その中から人に有用な作用を引き出す活動。

せんだい新・生活産業創出コンソーシアム注4)

(四頁 みらい仙台)

コミュニティビジネスの創出を目指す、市内における新規企業や既存企業の新分野進出の機会とするための地域における様々な主体による協力体制。

オムニバスタウン構想注5)

(四頁 民主フォーラム)

バスを中心とした、人まち環境にやさしいまちづくりを推進する市町村の取組を警察庁・国土交通省が連携して重点的に支援を行うもの。

オストメイト注6)

(五頁 健康福祉常任委員会)

大腸がん・ぼうこうがんなどの治療のため人工肛門・人工ぼうこうなど手術で人工的に腹部に排泄口をつくった患者のこと。手術前と手術後とで変わらない生活ができるが、外出先での排泄に悩んでいる人が多い。

情報バリアフリー注7)

(六頁 情報化社会対応特別委員会)

高齢者・障害者にとってない人との情報通信の利用面での格差が、結果的に社会的・経済的格差につながる恐れがあるので、誰もが情報通信の利便を享受できる環境を整備すること。

都市整備建設委員会

都市整備局、建設局、下水道局を所管

付託された議案番号 (第85号) 委員長 鈴木 勇治 副委員長 高橋 次男

付託された四議案は、全会一致で可決すべきものと決した。都市整備局の報告への質問

問 宮城野区の黒門地区の列車騒音対策について伺う。

答 騒音対策はJR貨物が遮音壁の一部設置を行っており。市としては未設置部分の早急な設置について強く求めていく。

問 長町地区工場等跡地の土壌調査で、ヒ素等が検出されたことについて伺う。

答 環境局と十分協議し、調査対象の範囲の設定と原因の究明等について適切な対応を図り、情報公開と説明会を

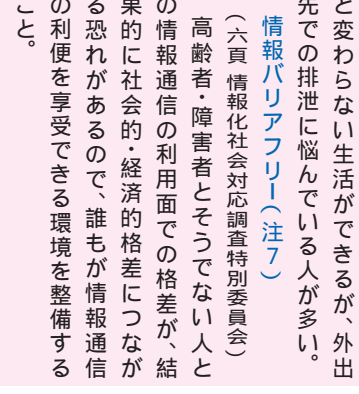
付託された議案番号 (第87号) 委員長 小山 勇朗 副委員長 岡部 恒司

付託された議案は、起立採決の結果賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決した。

問 今回一部のバス路線について宮城交通へ移譲を決めた主な理由について。

答 バス事業の経営が非常に悪化しているが料金改定を実施できる状況にない。一層の経営改善を図るために、市民の足が守れるなら、競合路線を軽くしたいということである。

問 議会の議決後に住民に説明する手法の妥当性及び今後の具体的な説明方法について



バス路線・トータル便数・料金も同じなので、利用者には不便にはならずご理解いただけると考えている。七月中頃から宮城交通との共催で各団地ごとに説明会を開催して、また、市政だよりや交通局の広報誌への掲載、宮城交通も含むバス車内や地下鉄への掲示等により、広く周知したい。